

2023（令和4）年度が始まりました。今年度の始まりは、スタッフが2名という寂しいスタートとなりました。オフィスとしては寂しいですが、障がいがあっても社会とのつながりを持ちながら生活ができていると思いたいです。

昨年度末に、3名の就職先が決まり、1名は3月中に、2名は4月1日から新しい生活をスタートさせています。一般企業への就労が2名、町立公民館への就労が1名という結果でした。また、1名が加療のために退職となりました。早く身体を治して、退院できることを願っています。オフィスがオープンして2年がたち、2名の方が進路変更のため退職されたりしましたが、就労に向けての取り組みは個々の課題が大きく、また社会や会社の扉が開くタイミングが難しいというのが実感です。

スタッフとともに、いろいろな人や機関、会社との出会いを求めていきたいと思えます。その中で、個々のスタッフの課題が少しでも解決でき、自己実現を果たすことができるように支援していきたいと考えます。

管理機に挑戦



小学校で以前に「寒おこし」を行っておいだ畑を、管理機を使って耕うんしました。初めてで、いつも見ている中濃特別支援学校の管理機とは異なりましたが、慣れてくるにしたがってスムーズに使うことができるようになりました。おいしいジャガイモができるといいのですが。

観察池の周りなど、あまり手が入らず知らず知らずのうちに大きくなってしまった木を伐採したり、枝を剪定したりしています。

お礼の手紙や感謝状をいただきました。

いつも訪問させていただいている学校の児童の皆さんから手紙や感謝状をいただきました。いつも皆さんはスタッフの活動を見てくれて、活動に対してのお礼ということでとてもうれしく、ほっとすることができました。いつまでもきれいに使ってくれるとうれいすし、今後も活動をさせていただけるとありがたいです。

